

○事業所名	ことごと（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	令和8年3月2日		～	令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年3月16日		～	令和7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年3月12日		～	令和7年3月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「学校だけでは違った視点でアドバイスをいただけると」のご意見をいただきました。	併設する医療機関とは日常的に連携をとることができており、相談支援事業所が法人内にあることもあって、学校以外の機関も含めた支援チームを作ることができています。	日常的な連携を継続し、支援ネットワークを強固にしていきたいと思います。
2			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「保護者等の意向等を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげる」といった業務改善に努めていきたいと思います。	保護者の意向等を把握することは出来ていますが、定期的な会議等には組み込めていない状況です。	モニタリング時以外にも保護者の方との定期的なやり取りをする機会を設定していきたいと思います。
2			

事業所名	ことこと（保育所等訪問支援）	公表日	2026/4/30		
		利用者数	1	回収数	1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%	0%	0%	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%	0%	0%	学校とは違った視点でアドバイスをいただけたので参考になった。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%	0%	0%	適切だった。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	0%	100%	0%	即効性があるわけではないので長い目で対応していきたい。
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%	0%	0%	ありがとうございました。

ご意見・ご意見を踏まえた対応

「回数を重ねていけたらと思います」とのご意見をいただきました。学校等と連携を取りながら支援を継続していきたいと思います。

事業所名	ことこと（保育所等訪問支援）	公表日	令和8年4月30日
------	----------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制整備	1	訪問支援で必要に応じて使用する教具教材は適切であるか。	100%	0%	0%	利用者の状態や特性等に合わせて臨機応変に作成をしている。全体として統一感のあるものを作ることも検討する必要があると思われる。
	2	利用希望者に対して、職員の配置体制は不足していないか。	50%	50%	0%	営業時間が限られているため、利用の制限をさせていただく場合あり。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画して意見等を把握する機会を設けているか。	100%	0%	0%	定期的な会議の他に適宜話し合う機会を設けており、日常的に密なやり取りができてはいる。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	0%	保護者の評価表を確認し、その意向等を把握することは出来ているが、定期的な会議等には組み込んでいないため改善は必要。
	5	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	50%	50%	完全な第三者からの外部評価は受けることができていない。関係機関や管轄部署とは定期的に助言指導を受けている。
	6	職員の資質の向上を図るために、外部研修や法人内での研修に参加する機会が確保されているか。	100%	0%	0%	法人内で積極的に研修をおこなっており、それに参加する機会には恵まれている。外部の研修も法人の許可のもと参加できる。
適切な支援の提供	7	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	100%	0%	0%	保護者と本人に対して時間をかけてアセスメントをおこなっている。専門的な視点、教育・医療・福祉それぞれの観点からのアセスメントをおこなう。必要に応じて専門家からも助言をいただいている。
	8	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	0%	事業者内の会議で話し合いをし、こどもの特性や課題を共有し、目標を話し合いながら個別支援計画を作ることができてる。
	9	個別支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	0%	訪問先の担当者とは日常的にやりとりをし、その上で訪問前にはアセスメントをおこない、その意向に沿って計画を作成している。
	10	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	0%	計画を職員間で共有し、具体的な方法について検討した上で支援することができている。
	11	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0%	100%	0%	標準化されたツールやフォーマットを絞ることは出来ていない。子どもに合わせてその都度選択し、活用している。行動観察は積極的におこない専門家の助言を受けながらアセスメントに活用している。
	12	個別支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	0%	事業者内の話し合いで、ガイドラインに立ち返ってそれを踏まえて支援内容を設定している。
	13	支援開始前、終了後には職員間で必ず打合せや情報共有を行い、その日行われる支援の内容や役割分担の確認、支援の振り返りを行い、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	0%	支援開始前の打ち合わせは別日になることも多いが、打合せ、支援、情報共有を1セットとして取り組んでいる。また、学校内とも協力し外部も含めた支援チームで支援をしている。
	14	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	0%	訪問先の管理職とも密に話し合いをし、これまでの支援手法についてアセスメントの段階で丁寧に聞き取ることを義務付けている。
	15	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	0%	支援の記録をし、それをチーム内、事業所内で共有している。
関係機関や保護者との連携	16	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	0%	支援計画に沿ってモニタリングを定期的におこない、保護者の意向をその都度確認して見直しをおこなっている。
	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	0%	事業所からは、児童発達支援管理者のみならず、実際に直接的に支援している者も参加している。
	18	医療機関や障害福祉サービス、市の関係機関、児童相談所等と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	0%	併設する医療機関とは日常的に連携をとることができており、相談支援事業所が法人内にあることもあって、フットワークよく会議を開いてもらい関係機関と連携している。
	19	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	0%	利用者に移行時期の方が少ない。必要に応じて就学先等々は連携を図ってはいるが、相談支援事業所経由になることも多い。
	20	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	0%	併設する医療機関からの医師や心理師からは日常的に助言を受けることができている。
	21	事業所または法人として、自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	0%	法人内に相談支援事業所があることもあり、自立支援協議会の運営会議や研修、講演には積極的に参加している。
	22	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	0%	法人内に放課後等デイサービスもあり、様々な場面での利用者の様子を事業所をまたいで共有し理解を図る場を作っている。

	23	家族の対応力の向上を図る観点から、ペアレント・トレーニング等や家族の参加できる研修の情報提供等や、保護者会等を開催し保護者同士で交流する機会を設ける等、利用者家族への援助を行っているか。	100%	0%	0%	併設医療機関がおこなっている、ペアレント・トレーニングへの参加促しはできている。そのほか、保護者のニーズに応じて相談も受けている。
--	----	---	------	----	----	---

保護者等への説明等	24	契約書や重要事項説明書、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	0%	保護者の了承のもと、しっかりとした時間をとって説明する機会を設けている。
	25	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	0%	打合せとは別に、訪問先に保育所等訪問事業という事業自体の内容も含めた説明する機会を設けている。
	26	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	0%	まずは、こどもと保護者への聞き取りをもとにしてニードに合わせた個別支援計画を作成し、それを踏まえて訪問先のニードも確認し再度保護者に全体の確認をしてもらっている。
	27	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	0%	十分な時間をとり丁寧な説明を心掛け同意を得ている。
	28	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	0%	定期的に決まった面談以外であっても、その都度保護者の要請に応じて面談をおこなっている。電話等での対応もしている。
	29	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	0%	相談の体制があること、専門家の助言を受けやすい体制であることを説明した上で、申し入れには出来る限り迅速に対応している。
	30	定期的な通信等の発行や、HPやSNS、事業所の掲示等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	0%	ホームページを中心に事業所について発信している。
	31	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%	個人情報に留意し、専門家の指導のもと取り扱っている。
	32	障害や外国にルーツのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	50%	50%	0%	法人内で外国語に堪能な職員とともに対応することもあるが、適切なツールなども活用し、より丁寧な対応が出来るように整備することは課題である。
訪問先施設への説明等	33	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	0%	学校等から相談があった場合には、利用者への対応以外の内容でも適宜相談を受け助言等をおこなっている。必要に応じて関係機関等を紹介することもある。
	34	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設と情報共有や支援内容の検討等を行っているか。	100%	0%	0%	実施後は訪問先と情報を共有し、支援の体制や内容について一緒に検討をおこなっている。
	35	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	0%	実施後とは、家族と支援内容の共有と家族への助言等をおこない、家族から相談が合った場合にはそれに応じている。
	36	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%	情報の漏洩がないように、チェック体制を作り個人情報の保護に努めている。
非常時等の対応	37	業務継続計画（BCP）、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%	0%	法人方針のもとBCPや各マニュアルを事業所で策定をし、法人内の訓練等に参加している。しかし、保護者への周知は十分ではない。
	38	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、家族等への周知、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%	0%	法人の方針のもと安全計画を作成し、必要な研修等を受けている。事故防止マニュアル等と同様保護者への周知は十分ではない。
	39	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	0%	事業所内の会議にてヒヤリハットを共有する時間を作り、対策を検討している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	0%	法人内での研修に加えて、必要に応じて外部の研修も受け、虐待の防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、身体拘束行う場合にはこどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	50%	50%	0%	身体拘束が必要な利用者の利用がほぼない。